



PPG、2007年第1四半期:創業以来最高の四半期売上高を記録

塗料、光学製品、特殊化学製品の事業部で2桁の伸びを達成

【ピッツバーグ、2007年4月19日】

本日、ピーピージー・インダストリーズ(PPG)は、29億ドル(約3423億円)という記録的な第1四半期の売上高を発表した。これは創業以来、最高の売上高で、2006年第1四半期の記録的な売上高を11%も上回った。尚、第1四半期の純利益は1億9400万ドル(約229億円)だった。

PPGの会長兼最高経営責任者チャールズ・E・バンチは次のように語った。

「弊社では昨年の企業買収によってもたらされた好調な業績が反映され始めています。根強い既存の成長率に加えて、買収した光学製品・特殊化学品事業部と弊社の塗料事業部2部門で、総売上高の20%増を達成しました。それに加えて、生産所得も12%増と好調です。」「一方、毎年、下降傾向にあった基礎化学品事業部ですが、第4期と第2期の業績は好転しました。」

「今後も関連市場の経済成長の加速と共に、弊社は各事業部において、世界的なプレゼンスを示し続けるでしょう。また、次の企業買収の次期を見極め、新規事業を開拓し続けたいと考えています。弊社の最大の目標は、株主への利益の還元であると考えています。」

弊社の決算報告は、業績の明確化のため、今後は従来の3事業部から5事業部へ分けて報告する。

高機能塗料事業部の売上高は前年同期との比較で1億7700万ドル(約208億円)(26%)増えた。この結果には、企業買収の影響、ドル安のプラス効果、販売量の増加、販売価格の改善などが寄与している。また、事業部利益としては、販売数量の増加と企業買収のプラス効果が寄与し、1600万ドル(約18億円)の伸びを見せた。

工業用塗料事業部の売上高は前年同期との比較で1億100万ドル(約119億円)(13%)増えた。この結果には、企業買収の影響、ドル安のプラス効果、販売量の増加などが寄与している。また、事業部利益としては、販売数量の増加や企業買収のプラス効果などにより伸びを見せたが、インフレの悪影響を受け、400万ドル(約4億7220万円)に留まった。

光学製品・特殊化学品事業部の売上高は前年同期との比較で4800万ドル(約56億円)(21%)増えた。この結果には、企業買収の好影響が寄与している。

ガラス事業部の売上高は前年同期との比較で1700万ドル(約20億円)(3%)減となった。この結果には、販売量の減少、販売価格の引き下げ、強い外貨の影響などが関与している。

PPGについて

PPG(本社:米国ピッツバーグ)は、世界でトップクラスの自動車用塗料メーカーであり、工業用塗料、化学品、化学製品、特殊化学品、ガラス品、ガラス繊維のグローバルサプライヤーである。同社は、30万人を超える従業員を擁し、世界20カ国以上に125の製造拠点と関連会社がある。2006年度の売上高は110億米ドル(約1兆2985億円)。PPGはニューヨーク、フィラデルフィアの両証券取引所に上場している。(略称:PPG)